

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年5月11日～2019年5月17日の推移】

【1】先週の回顧

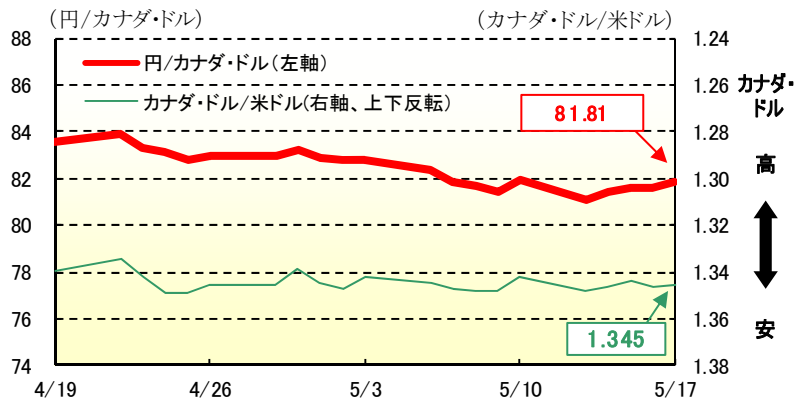
カナダ・ドルは、対円でおおむね横ばいになりました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

中国が米国からの輸入品に対して追加関税を課すとの報復措置を発表し、米中貿易戦争に対する懸念が強まったため金利は低下しました。カナダ・ドルは、金利低下を受けて下落圧力が強まりましたが原油価格が上昇したため、対円でおおむね横ばいになりました。

経済指標ではCPI(消費者物価指数)が発表されており、予想通りの結果になっています。また、米国の鉄鋼などに対する関税の新規協定案でカナダ、メキシコに関しては追加関税が除外されるとの報道があり、カナダの金利、通貨にとってはポジティブな材料となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】

(2019年4月19日～2019年5月17日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

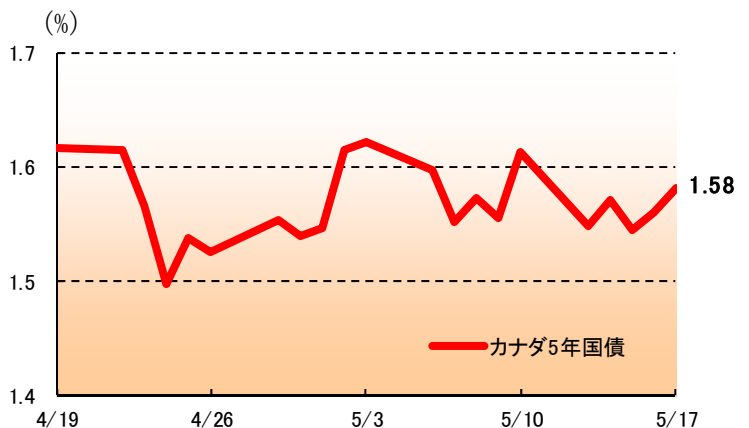
【2】今週の見通し

今週、カナダでは小売売上高の発表が予定されています。前回から改善することが見込まれており、良好な結果になれば、カナダの金利、通貨の上昇圧力につながる考えられます。

足元では、米中貿易戦争に対する懸念の強まりを背景に株価は軟調に推移しています。一方、原油価格に関しては米国の対イラン制裁やサウジアラビアがOPEC(石油輸出国機構)に対して、減産方針の堅持を求めたことから堅調に推移しており、カナダの金利、通貨を下支えすることが期待されます。

【カナダ 金利推移】

(2019年4月19日～2019年5月17日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>